

2019年度

教化伝道研修会のご案内

親鸞聖人は仏智疑惑和讃に

不了仏智のしるしには 如来の諸智を疑惑して
罪福信じ善本を たのめば辺地にとまるなり（聖典 505 頁）

とご述懐されています。

このご和讃で親鸞聖人は、自力の行者が仏智不思議を信じないしるしには、如来の諸智を疑い、本願の名号を自己の善根としてたのみにすることから、浄土の辺地である化土に停滞するのであると仰っておられます。

このご和讃に、私自身の聞法の姿勢が、教えを自分の懐に入れて、それを答えとして握りしめ、自分の思いを満たすための聞法になっているのではないかと問われてきます。

以前、教えに出遇うとは、「自分の思いが破られること」であるとお聞きしたことがあります。

では、本当に教えに出遇って生きていくとは、どのような姿なのでしょう。

ここに、改めて親鸞聖人が出遇われた本願念仏の教えに学び、共々に自己の課題を見出し、語り合うことを願いとして、教化伝道研修会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

- 趣 旨** 教学を通して、自己の課題を見出し教化伝道の意義を学ぶ。
- 日 時** 2020年3月10日（火）13時30分から（受付は13時から）
13日（金）12時まで（3泊4日）
- 会 場** 東本願寺 北海道青少年研修センター
（札幌市中央区伏見5丁目2番 ☎011-551-8697）
- 講 師** 講 義：黒田 進 先生（長浜教区 満立寺・元教師修練道場長）
講 題：「教えに出会い続けていく歩みとは」
- 特別講義：日馬 教生 先生（第7組 常寶寺・同朋教化部門企画部会）
講 題：「法縁の過疎 — 宗門に属する者の課題 —」
- 助言指導** 圓淨 貴之 先生（第11組 澄心寺）
楠 宏生 先生（第16組 正行寺）
- スタッフ** 伊藤 智秀（第4組 明德寺） 宝喜 智明（南第3組 光徳寺）
奥村 翔（第4組 選教寺） 鳥毛 浄生（第17組 蓮生寺）
- 事務局** 鷲嶺 彰宏（教区駐在教導） 中西 志香（教区駐在教導）

参加対象 有教師

参加費 10,000円（当日会場受付にて納入いただきます。）

服装 間衣・輪袈裟（豊袈裟可）・小念珠、白服または色服。もしくは、スーツ・ワイシャツ（男性の場合はネクタイ）をご着用ください。

持参品 『真宗聖典』・『真宗聖教全書一 三経七祖部』・筆記具・ノート・洗面具・寝間着・保険証・その他（各自必要と思われるもの）

申込方法 参加希望者は教務所宛てに、2月28日(金) 必着。
本紙をFAX（011-512-3929）、または下部の申し込み箇所を切り取ってご送付ください（FAXの場合、送信後教務所に確認のお電話をおかけください）。

※全日程修了者には、教師陞補に必要な受講証が発行されます。

※その他ご不明な点がございましたら、北海道教務所（担当：鷲嶺）までお問い合わせください。

主催 真宗大谷派北海道教区教化委員会 担当 同朋教化部門 研修部会

----- 切り取り線 -----

2019年度 教化伝道研修会参加申込書

所属寺 _____ 教区 第 _____ 組 _____ 寺・教会

ふりがな _____ 男・女 _____ 歳
ご氏名 _____

ご住所 _____ 勤務先(所属寺以外の場合) _____